平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名　昭和鉄工株式会社　　上場取引所　福
コード番号　5953　URL　http://www.showa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本駿一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　経理部長　(氏名) 山根譲治　TEL 092-651-2931

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,351	△9.9	△344	―	△379	―	△394	―
24年3月期第2四半期	4,828	△9.3	△208	―	△196	―	△221	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△563百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△298百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△46.77	―
24年3月期第2四半期	△26.25	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,017	2,314	17.8
24年3月期	14,108	2,904	20.6

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　2,314百万円　24年3月期　2,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	3.00	3.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	2.8	50	49.3	25	7.3	90	23.0	10.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	8,970,000 株	24年3月期	8,970,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	530,357 株	24年3月期	528,449 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,440,296 株	24年3月期2Q	8,442,601 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… ２
（３）キャッシュ・フローの状況 …… ３
（４）連結業績予想に関する定性的情報 …… ３
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ４
３．四半期連結財務諸表 …… ５
（１）四半期連結貸借対照表 …… ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… ７
四半期連結損益計算書 …… ７
四半期連結包括利益計算書 …… ８
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… ９
（４）継続企業の前提に関する注記 …… １０
（５）セグメント情報等 …… １０
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… １１

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などにより緩やかな景気回復基調が見られたものの、欧州債務問題等を背景とした海外経済の減速や円高の長期化、株価の低迷等の景気の下振れリスクにより先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー１３０」の３年目の年として、重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減等に取り組んでまいりました。

しかしながら、液晶パネルメーカーの設備投資縮減によりサーモデバイス機器の売上減が影響したため、当第２四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、43億5千1百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

損益面につきましては、前年同期に比べ経費の改善や原材料費の低減等が寄与したものの、売上高の減少をカバーするまでには至らず、営業損失は3億4千4百万円（前年同期は営業損失2億8百万円）、経常損失は3億7千9百万円（前年同期は経常損失1億9千6百万円）、四半期純損失は3億9千4百万円（前年同期は四半期純損失2億2千1百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりでありますが、第１四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第２四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器では「ファンコイルユニット」「エアハンドリングユニット」、熱源機器では「業務用エコキュート」の売上が拡販努力により好調に推移しました。また、環境機器のうち「空気清浄機」の売上が順調に推移しましたが、サーモデバイス機器では前年同期のような大口出荷案件がなかったことから低調に推移しました。この結果、当事業の売上高は27億1千7百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は前年度の繰越し物件が少なかったこともあり、やや低調に推移しましたが、鋳造品はガスタービン関連部品の売上が順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は7億4千6百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、営業強化により関東地区の有料サービス及び九州地区のリニューアル工事・設備工事の売上が順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は8億8千7百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億9千1百万円減少し130億1千7百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が1億3千1百万円増加したものの当第２四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の売上が少ないため売上債権が14億2千1百万円減少したことなどによります。

負債については、前連結会計年度末に比べ5億2百万円減少し107億2百万円となりました。主な要因は、当第２四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の資材調達等が少ないため仕入債務が4億3百万円減少したことなどによります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ5億8千9百万円減少し23億1千4百万円となりました。主な要因は、四半期純損失3億9千4百万円を計上したことによる減少と株価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少1億7千2百万円によるものです。

（３）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億5千万円減少し27億9千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は3億2千万円(前年同期は3千1百万円の支出)となりました。これは主に、売上債権の減少額14億2千9百万円、減価償却費8千7百万円による増加と、税金等調整前四半期純損失3億7千9百万円、仕入債務の減少額4億3百万円、たな卸資産の増加額3億1千3百万円による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は3億7千8百万円(前年同期は4千8百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出3億円、有形及び無形固定資産の取得による支出4千6百万円による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は1億9千2百万円(前年同期は3千1百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純減額1億5千1百万円、配当金の支払額2千5百万円による減少であります。

（４）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成25年３月期　第２四半期累計期間業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,042	2,811
受取手形及び売掛金	4,374	2,952
商品及び製品	174	381
仕掛品	730	817
原材料	337	356
その他	126	208
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	8,777	7,521
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,678	1,678
その他（純額）	1,325	1,351
有形固定資産合計	3,004	3,030
無形固定資産	25	45
投資その他の資産		
投資有価証券	1,735	1,867
その他	627	605
貸倒引当金	△62	△52
投資その他の資産合計	2,301	2,420
固定資産合計	5,331	5,496
資産合計	14,108	13,017
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,615	2,212
短期借入金	4,607	4,155
未払法人税等	35	23
その他	819	859
流動負債合計	8,078	7,250
固定負債		
長期借入金	938	1,227
退職給付引当金	1,617	1,640
その他	570	583
固定負債合計	3,126	3,451
負債合計	11,204	10,702

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	374	△45
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,154	2,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△227	△399
為替換算調整勘定	△23	△20
その他の包括利益累計額合計	△250	△419
純資産合計	2,904	2,314
負債純資産合計	14,108	13,017

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	4,828	4,351
売上原価	3,827	3,463
売上総利益	1,001	887
販売費及び一般管理費	1,209	1,231
営業損失（△）	△208	△344
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	22	21
その他	46	10
営業外収益合計	69	35
営業外費用		
支払利息	45	45
その他	12	24
営業外費用合計	57	69
経常損失（△）	△196	△379
特別損失		
貸倒引当金繰入額	11	－
特別損失合計	11	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△208	△379
法人税、住民税及び事業税	13	15
法人税等合計	13	15
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△221	△394
四半期純損失（△）	△221	△394

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△221	△394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	△172
持分法適用会社に対する持分相当額	4	3
その他の包括利益合計	△76	△168
四半期包括利益	△298	△563
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298	△563
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△208	△379
減価償却費	115	87
貸倒引当金の増減額（△は減少）	10	△10
退職給付引当金の増減額（△は減少）	33	23
受取利息及び受取配当金	△23	△24
支払利息	45	45
持分法による投資損益（△は益）	△6	△3
売上債権の増減額（△は増加）	392	1,429
たな卸資産の増減額（△は増加）	△17	△313
仕入債務の増減額（△は減少）	△423	△403
その他の資産・負債の増減額	81	△88
その他	△3	0
小計	△3	364
利息及び配当金の受取額	23	24
利息の支払額	△43	△44
法人税等の支払額	△19	△29
法人税等の還付額	11	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31	320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△52	△46
投資有価証券の取得による支出	△0	△300
その他	4	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	△378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△301	△151
長期借入れによる収入	300	400
長期借入金の返済による支出	△11	△411
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△16	△25
その他	△1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31	△192
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△110	△250
現金及び現金同等物の期首残高	2,882	3,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,771	2,791

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,278	746	802	4,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	5	36	47
計	3,284	752	839	4,875
セグメント損失（△）	△61	△114	△32	△208

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△208
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△208

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,717	746	887	4,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	5	33	44
計	2,723	751	920	4,395
セグメント利益又は損失（△）	△175	△176	7	△344

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△344
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△344

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（セグメント区分方法の変更）

従来のサーモデバイス事業については、平成23年度に実施した事業構造改革に伴い、経営管理上採用している区分の見直しを行い、機器装置事業へ統合しております。また、従来、機器装置事業部が所管していたサービスメンテナンス事業については、中期経営計画を実行するための組織変更が完了したため、経営管理上採用している区分の見直しを行い、独立したセグメントとするものであります。

報告セグメントにおきましては、従来は「機器装置事業」、「素形材加工事業」、「サーモデバイス事業」としておりましたが、第１四半期連結会計期間から「機器装置事業」、「素形材加工事業」、「サービスエンジニアリング事業」としております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。